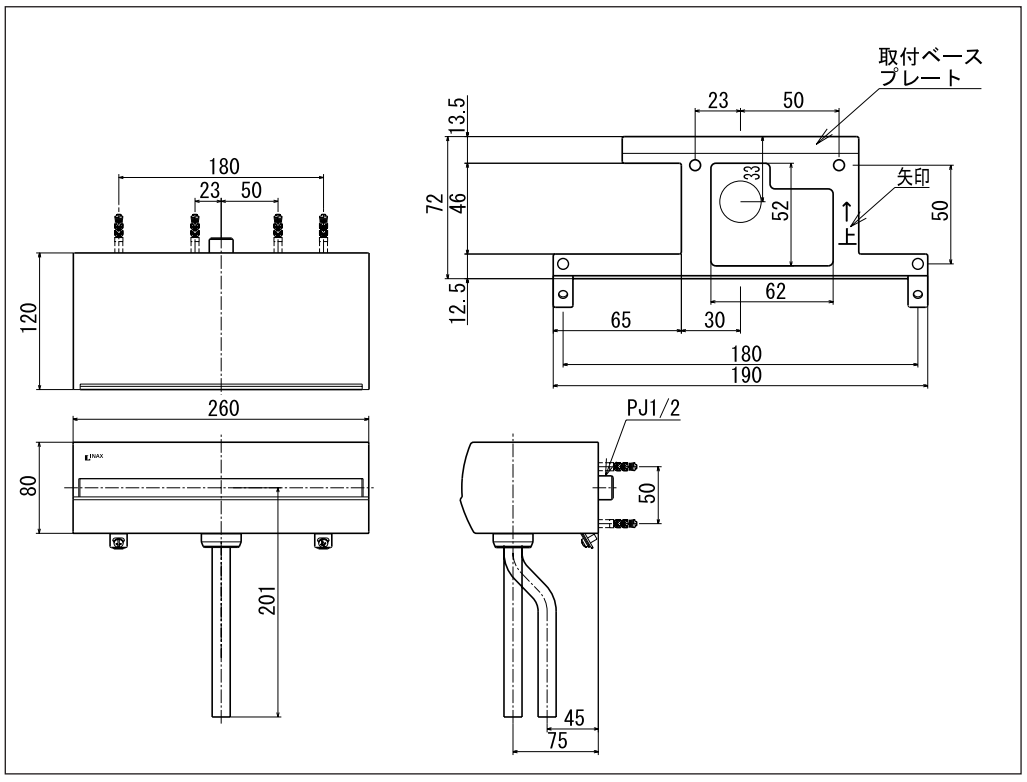
施工説明書

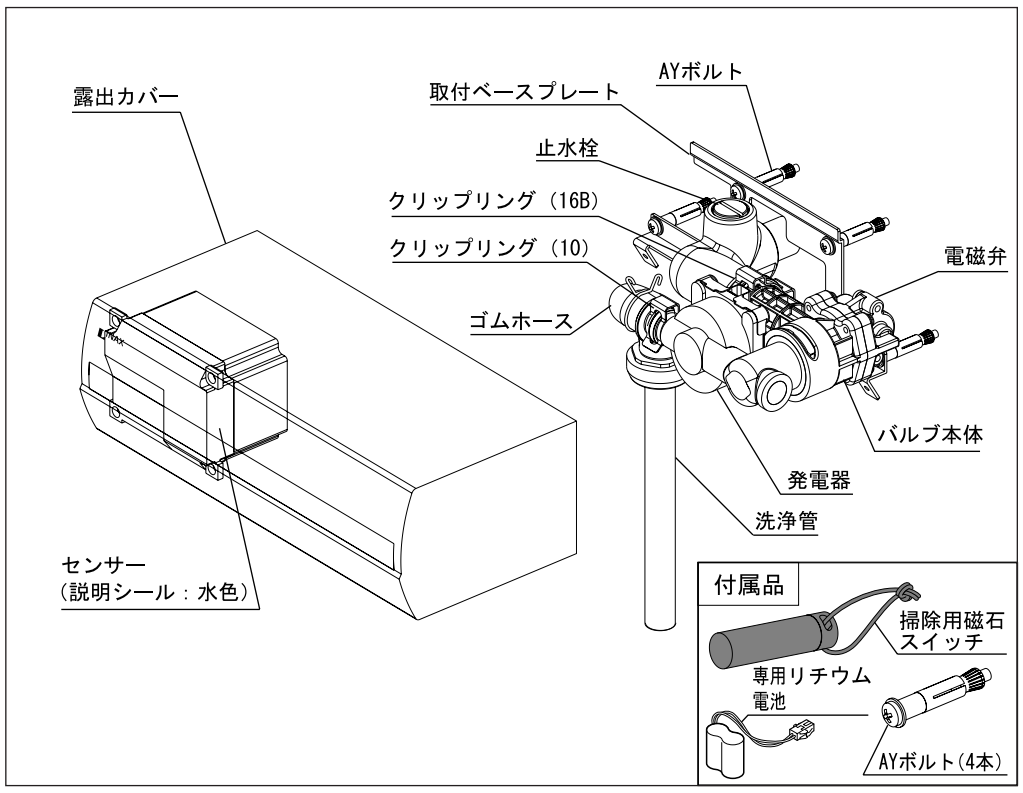
アクエナジー式小便器自動洗浄システム（露出形）

AMU-131SM

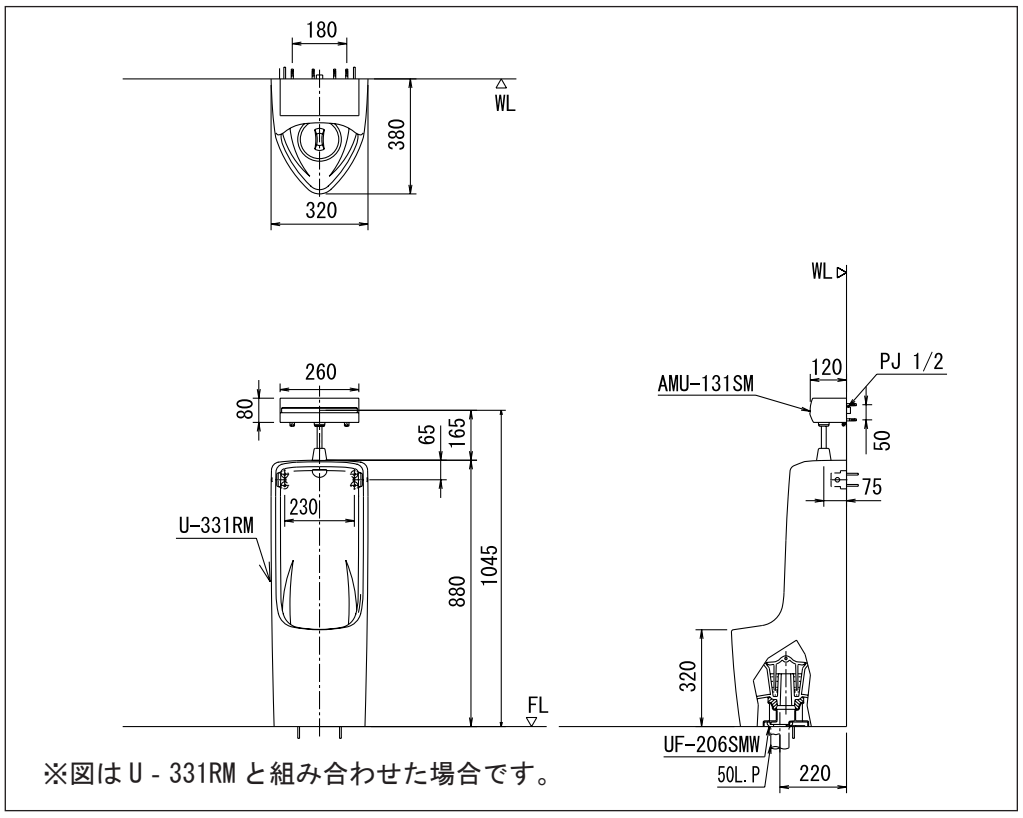
●商品図



●各部の名称



●施工完了図



※図はU - 331RMと組み合わせた場合です。

●仕 様

品番	AMU-131SM
外形寸法	80mm（縦）× 260mm（幅）× 120mm（奥行）
電源	自己発電式　※注．専用リチウム電池付
消費電力	常時 4W 以下　バルブ作動時 8W 以下
感知距離	約 550mm
感知幅	約φ 200mm
使用周囲温度	0 〜 40℃ ※寒冷地には対応しておりません。
給水圧力	最低必要圧力：0.07MPa（流動時）、最高水圧：0.75MPa（流動時）
給水接続口径	PJ1/2
取付ビス	AY-21W（4 本）M4 × 40mm
洗浄管	ヘリウズ差 0mm、30mm 2 本同梱（φ 16mm × 140mm）
予備洗浄	①あり　②なし　より選択可能（出荷時は①に設定）
本洗浄	①スーパー AI 節水モード　：1 〜 2L ② AI 節水モード　：2 〜 4L（出荷時は②に設定） ③固定モード　：4L 固定
設備保護洗浄	①スーパー AI 節水モード　：2 時間連続して使用者がない場合、自動的に 2L 洗浄 ② AI 節水、固定モード　：8 時間連続して使用者がない場合、自動的に 4L 洗浄 ※この他に、節水モードに関係なく、2 時間毎 4L 洗浄、24 時間毎 4L 洗浄、しない、にも設定できます。 ただし「２４時間毎４Ｌ洗浄」、「しない」に設定した場合、排水管に尿石が溜まり、つまりやすくなり、尿臭を感じる恐れがあります。 また、発電量が減少してしまうため、専用リチウム電池の消耗が早くなります。
その他の節水機能	● 本洗浄中に使用者を感知すると洗浄を中止。 ● 感知後 4 秒以内に非感知の場合、本洗浄なし。
掃除機能	掃除用磁石スイッチ（付属品）で掃除洗浄ができます。 ※ OK-3RC（掃除用リモコン）には対応していません。
使用水	上水

※注：バックアップ用リチウム電池（品番：A-4025）の寿命は使用状況により異なります。器具保護のため、最長でも 4 年を目安に交換してください。

●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は取扱説明書と共にお客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語および記号の説明

警告 ..... 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 ..... 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ ..... 「注意しなさい！」（上記の「警告」、「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。

水をかけないでください。
※ 発火・ショート・感電・故障の原因となります。

水での丸洗いはおやめください。
※ 発火・ショート・感電・故障の原因となります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※ 発火・ショート・感電・故障の原因となります。

コネクタの抜き差しは必ず乾いた手で行ってください。
※ ぬれた手で行うと、感電する恐れがあります。

⚠注意

上水道以外は使用しないでください。
※ 機械の内部腐食により、発火・ショート・感電・故障の原因となります。

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

専用リチウム電池についての安全上のご注意

下記のことを必ずお守りください。漏液・破損・発火・発熱・機器の故障の原因となります。

⚠警告
- 電池を充電しないでください。
- 電池を分解・加工・改造しないでください。
- 電池を加熱したり、火中に投げ入れないでください。
- 電池を強制放電しないでください。
- 付属の専用リチウム電池以外の電池を使用しないでください。

⚠注意
- 電池の液が漏れたときは、液をきれいに拭き取ってください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。漏液した電池は使用しないでください。
- 電池を機器に使用するまでの間、または機器から取り外して保管するときなどは、通風のよい、乾燥したあまり温度の上がらない場所に保管してください。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、INAXお客さま相談センターまで　ナビダイヤル　TEL 0570-017173　FAX 0570-017178
受付時間　平日 9:00〜18:00　土・日・祝日 10:00〜18:00（夏期・年末年始の休みは除く）
※ ナビダイヤルは、PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。右記番号をご利用ください。 TEL 0562-31-0793　FAX 0562-31-0797

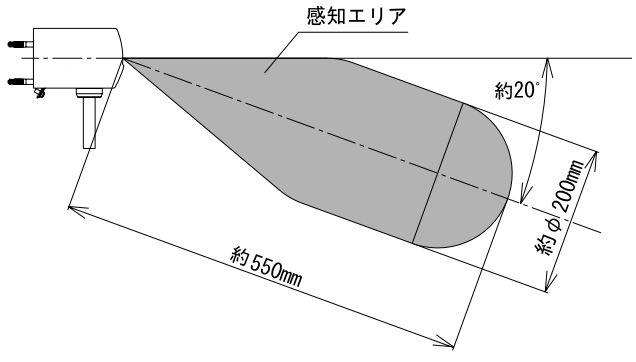
このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。 ●お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書をお渡しください。 お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

●施工前のご注意

- 電気部品には水をかけないように注意してください。
- 給水圧は最低 0.07MPa［流動時］必要です。
  ※ 必要水圧が確保できないと十分な流量が確保されず、鉢洗浄ができなくなる場合があります。
- 必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。
- 赤外線センサーの照射角度および感知距離は右図のとおりです。なお、赤外線センサーの感知エリアには手すりなどの障害物が入らないようにしてください。（図1）
- 本品を向かい合わせに使用しないでください。
  ※ 誤作動を起こす恐れがあります。
- 本品の正面に照明器具を設置しないでください。
  ※ 誤作動を起こす恐れがあります。
- 本品の正面の壁はできるだけ離して設置し、金属板などの鏡面のものは避けてください。
  ※ 誤作動を起こす恐れがあります。
- 本品はインバータ照明により、誤作動する場合があります。
- 赤外線センサー面は傷つけないよう十分注意してください。

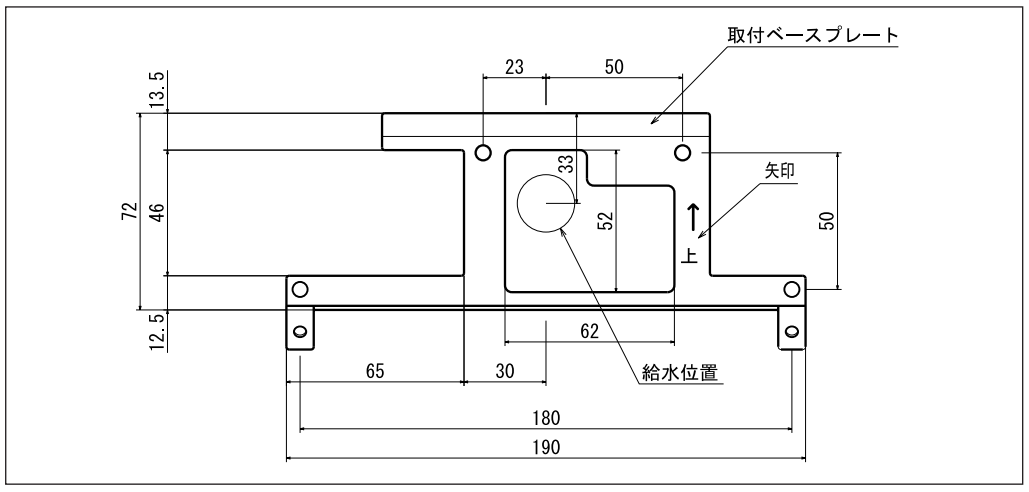
図1



●施工方法

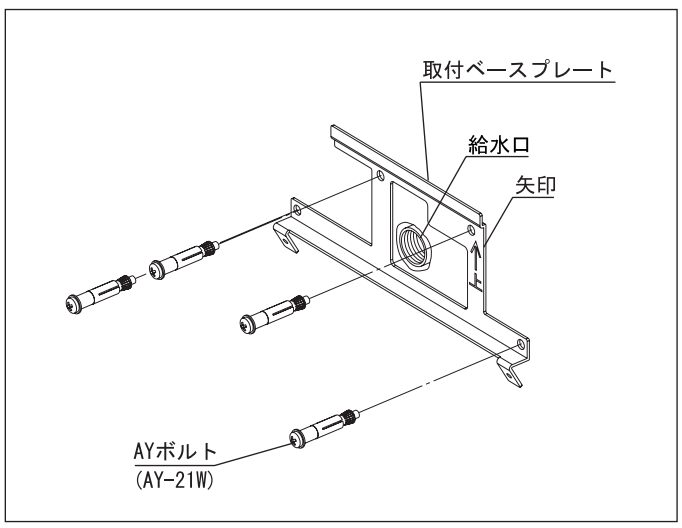
1 給水位置の芯出しと電気配線の取出し

※ 給水高さは、小便器上面から 165 ± 10mm を目安としてください。
※ 給水位置は、排水芯と一致するようにしてください。



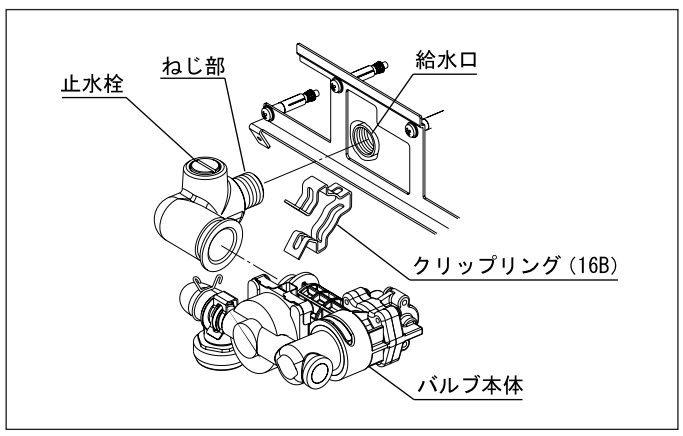
2 取付ベースプレートの取付け

(1) 取付ベースプレートを図のように取り付けます。取付ベースプレートには上下の向きがあります。矢印が上に向くように取り付けてください。
(2) 取付ベースプレートを付属の AY ボルト（AY - 21W 4 本同梱）で固定します。AY ボルトの下穴は径 φ 7.5mm ドリル、深さ 50mm としてください。
※AY ボルトの固定ができない木板壁等は市販の木ねじか、68 - 08（INAX 販売品、SUS304、丸頭 φ 4.5mm × 38mm）を別手配の上ご使用ください。

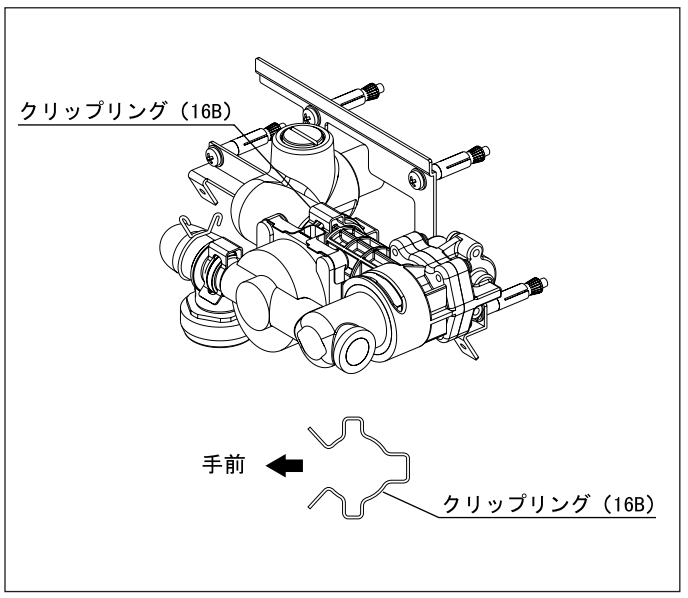


3 止水栓およびバルブ本体の取付け

(1) バルブ本体のクリップリング（16B）を外し、バルブ本体と止水栓を分離します。
(2) 止水栓のねじ部にシール材を巻き、給水口に取り付けます。
(3) 止水栓にバルブ本体を取り付け、クリップリング（16B）を差し込みます。
※必ず止水栓に工具を掛けて取り付けてください。バルブ本体に工具を掛けると、製品が破損する恐れがあります。
※バルブ本体にはストレーナーを内蔵していますが、取り付ける前に必ず給水管のゴミ、砂を完全に洗い出してください。



※クリップリング（16B）は取り付ける方向が決まっています。図を参考に、開口側が手前になるようにして、しっかりと最後まで差し込んでください。

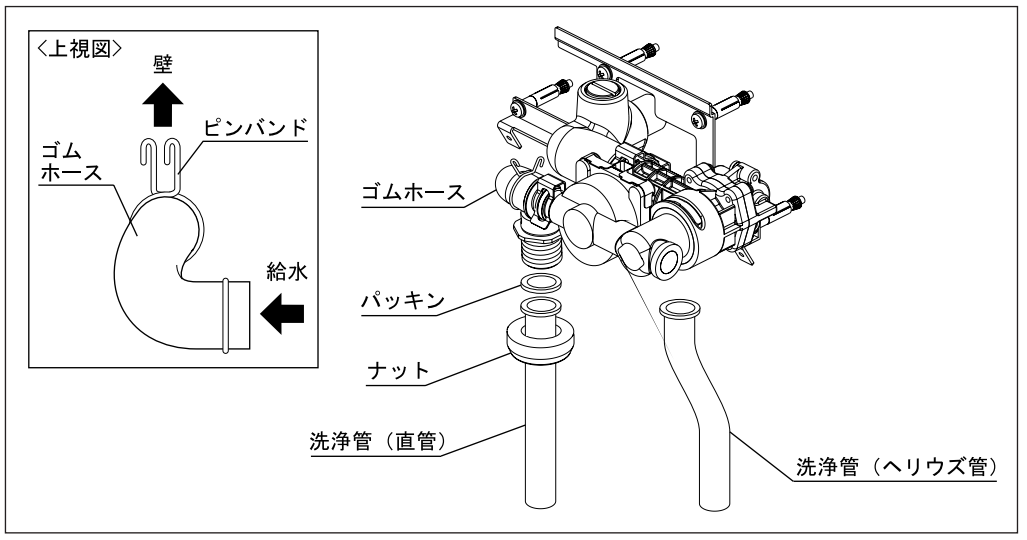


4 洗浄管の取付け

洗浄管には直管とヘリウズ管の 2 種類を同梱してあります。下記小便器の種類に合わせてご使用ください。

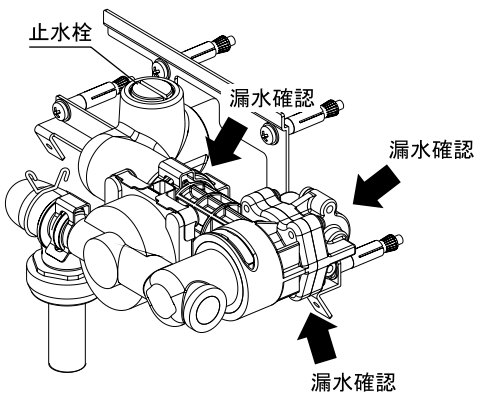
洗浄管	適用小便器
ヘリウズ管	U - 15, U - 104U, U - 104PM, U - 280, U - 504
直　　管	U - 321RM, U - 331RM U - 103, U - 106, U - 112, U - 114 U - 311, U - 311M, U - 321, U - 321M, U - 321P, U - 331, U - 331M, U - 411R, U - 431R, U - 441R

ゴムホースについているピンバンドのつまみ部が、壁側を向いていることを確認してください。
※ ピンバンドが他の向きになっていると、露出カバーに引っ掛かり、ゴムホースが外れる恐れがあります。



5 水漏れ点検

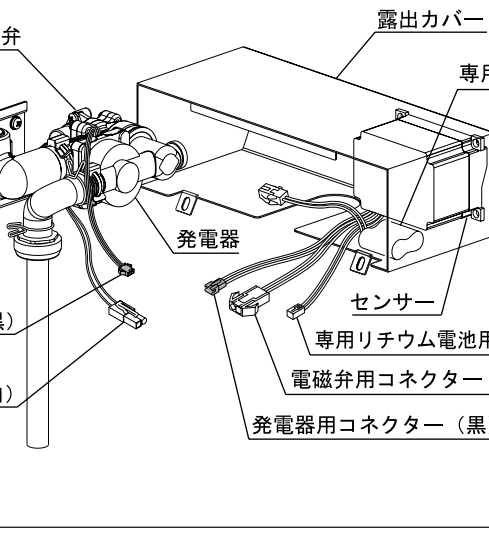
止水栓を開けてバルブに通水し、矢印の各接続部の漏水を確認します。



6 コネクターの接続

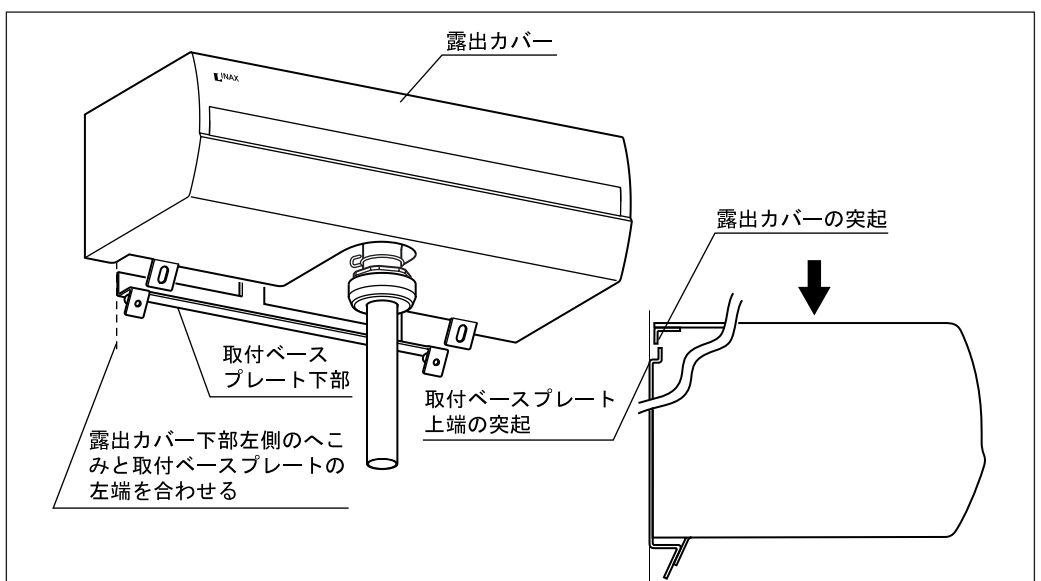
(1) センサーからの電磁弁用コネクター（白）と電磁弁コネクター（白）を接続します。
(2) センサーからの発電器用コネクター（黒）と発電器コネクター（黒）を接続します。
(3) センサーからの専用リチウム電池用コネクター（白）と付属品の専用リチウム電池のコネクター（白）を接続します。
(4) 専用リチウム電池は露出カバーの中に入れ込みます。

※ 専用リチウム電池をセンサー後ろのスペースに置いておくと、露出カバーの取り付けが容易になります。
※ コネクター形状は3種類ありますので､形状が合わないときは無理に接続しないで、適合するものと接続してください。
※ この時点で右記の「●施工後の調節」にならい、センサーの調節をしますと、露出カバーの取付け・取外しの手間が省けます。

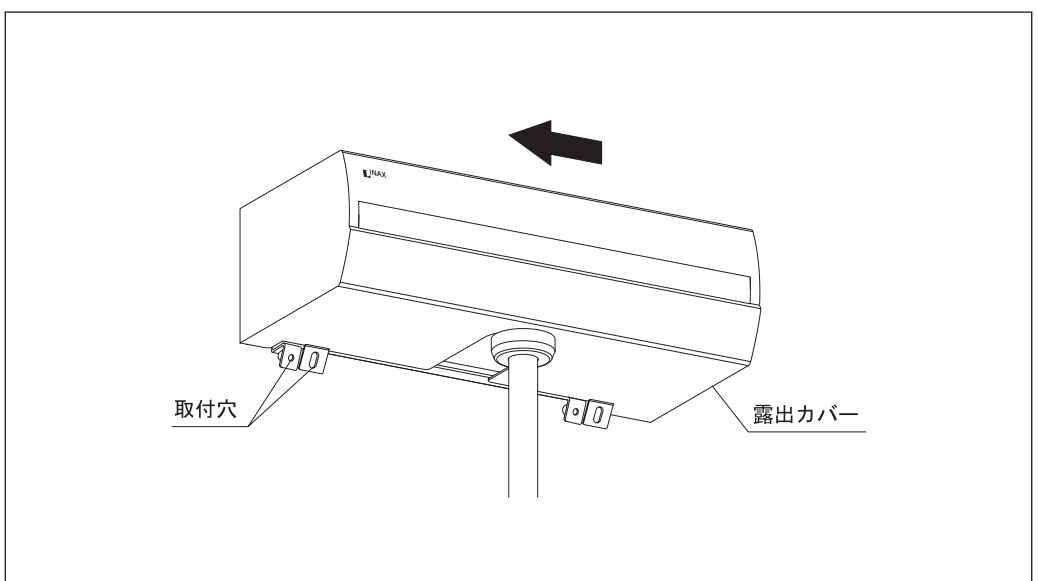


7 露出カバーの取付け

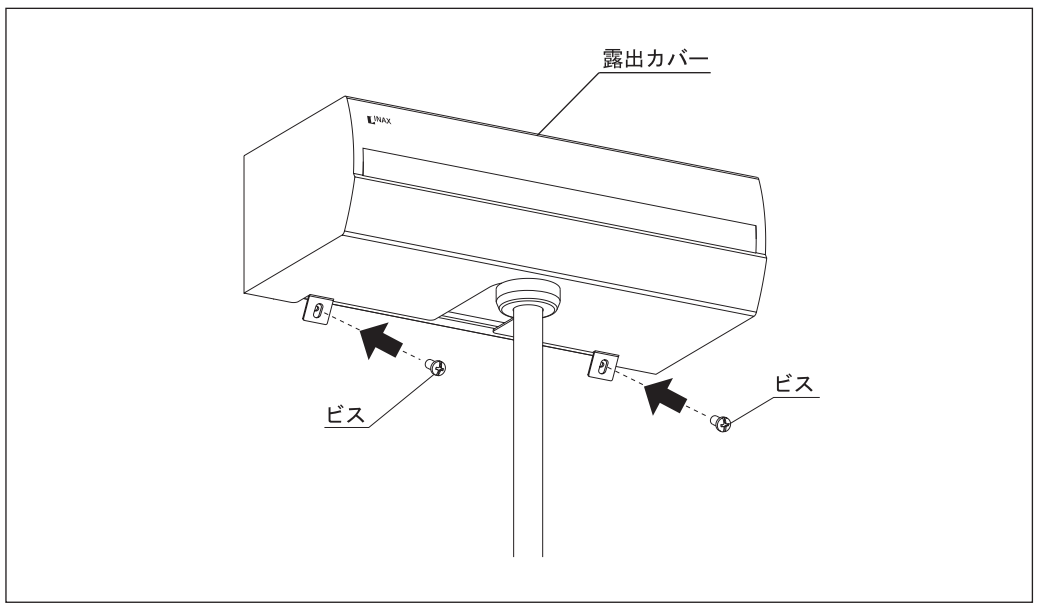
(1) 露出カバー下部左側のへこんだ部分を取付ベースプレート下側の左端に合わせて、上から露出カバーを取付ベースプレートに押し込みます。このとき取付ベースプレートの上端の突起と露出カバー上部の突起がかみ合うようにはめ込みます。



(2) 露出カバーの取付穴と取付ベースプレートの取付穴が合うように、露出カバーを横方向にスライドさせます。



(3) 露出カバーの下側からビスで 2 カ所固定します。



●施工後の調節

洗浄機能は工場出荷時に次のように設定されています。
・予備洗浄 ..... する
・本洗浄 ..... AI 節水モード（2 ～ 4L）
・設備保護洗浄 .. 各節水モード対応
・凍結防止 ..... しない
下記の理由で調節する場合は、露出カバーを外し、露出カバーからセンサーを取り外して右記の調節方法に従ってセンサーを調節してください。

● 予備洗浄の設定
「予備洗浄する」、「予備洗浄しない」のいずれかに設定できます。

● 本洗浄の設定
1 ～ 2L の水量を流す「スーパー AI 節水モード」、または従来と同じ 2 ～ 4L の水量を流す「AI 節水モード」、常に 4L の水量を流す「固定モード」のいずれかに設定できます。

● 設備保護洗浄の設定
「各節水モード対応」、「24 時間毎 4L」、「しない」、「2 時間毎 4L」のいずれかに設定できます。
「各節水モード対応」のときの洗浄パターンは以下の通りです。
スーパー AI 節水モード ：2 時間連続して使用者がいない場合、自動的に 2L 洗浄
AI 節水、固定モード　　：8 時間連続して使用者がいない場合、自動的に 4L 洗浄
※「24 時間毎 4L」、「しない」に設定した場合、排水管に尿石が溜まり、つまりやすくなります。また尿臭を感じる恐れがあります。よって「各節水モード対応」でのご使用をおすすめします。

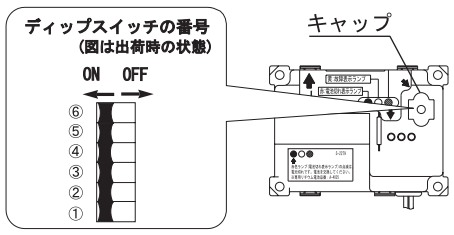
● 凍結防止機能の設定
「凍結防止しない」、「凍結防止する」、のいずれかに設定できます。
「凍結防止する」に設定した場合、冬季一般地での冷え込みによる製品の凍結破損を防止するため、外気温を検出し、一定時間間隔で自己吐水し、凍結しにくくします。
※寒冷地への対応はできません。寒冷地で使用された場合、凍結により破損する恐れがあります。

● 動作の確認
止水栓を開けて通水します。
① 予備洗浄動作の確認
製品の前に立ち、予備洗浄をすることを確認します。
（「予備洗浄する」に設定の場合）
また、洗浄中のみセンサー正面の緑色ランプが点灯することを確認してください。
② 本洗浄動作の確認
製品の前から離れて、本洗浄することを確認します。
また、洗浄中のみセンサー正面の緑色ランプが点灯することを確認してください。
③ 故障表示ランプの確認
本製品には故障表示ランプが付いています。
センサー正面の黄色ランプが点滅していないことを確認してください。
ランプが点滅している場合は、下の表の内容を確認してください。

確　認　内　容
センサーの故障 電磁弁コネクターの外れ、電磁弁の故障、電磁弁コードの断線（電磁弁側・センサー側） 発電器コネクターの外れ、発電器コードの断線（発電器側・センサー側）

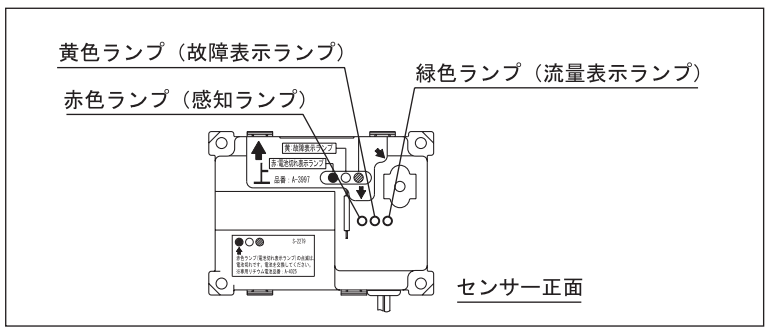
●洗浄仕様の設定

センサーの表側にあるキャップを外し、小型のマイナスドライバー等でスイッチを左右に ON・OFF させ調節します。調節は下図に従って行ってください。



	機　能	動　作	
スイッチ①	予備洗浄の設定		ON：予備洗浄する
			OFF：予備洗浄しない
スイッチ②③	本洗浄の設定	③ ②	AI節水モード
		③ ②	スーパーAI節水モード
		③ ②	機能なし（設定しないでください）
		③ ②	固定モード
スイッチ④⑤	設備保護洗浄の設定	⑤ ④	各節水モード対応
		⑤ ④	設備保護洗浄しない
		⑤ ④	24時間毎4L
		⑤ ④	2時間毎4L
スイッチ⑥	凍結防止の設定		ON：凍結防止しない
			OFF：凍結防止する

●センサーの表示ランプ



※専用リチウム電池接続後 5 分間のみ、感知すると赤色ランプが点灯します。

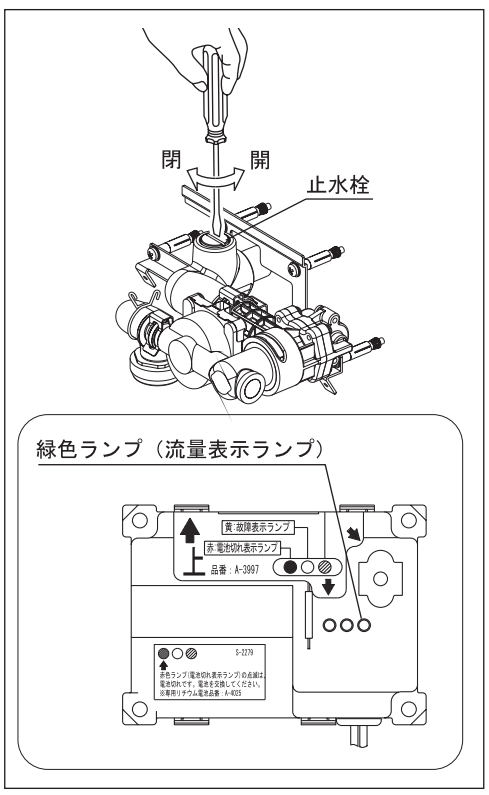
●流量の調節

赤外線センサーに手をかざして洗浄させ、洗浄している間に止水栓を開いて適正流量になるよう流量を調節します。適正流量の目安は、センサーの緑色ランプ（流量表示ランプ）が点灯する流量です。
※ 実際の小便器への水の流れ具合を見ながら、鉢全面に水がまわるように調整してください。

緑色ランプ（流量表示ランプ）の点灯状態

点灯状態	流　　量
遅い点滅	少なすぎる
点　　灯	**適　　正**
速い点滅	多すぎる

※ 洗浄直後および止水する寸前は、流量が下がるため、点滅する場合がありますが、故障ではありません。



●ストレーナーの掃除

1. 止水栓を右に回して閉めます。
2. クリップリング（10）を外し、バルブ本体からゴムホースを外します。
3. クリップリング（16B）を外し、止水栓からバルブ本体を外します。
4. バルブ本体についているストレーナーのゴミ等を、水洗いして取り除きます。
5. 逆の手順でバルブ本体と、ゴムホースを取り付けます。
※ クリップリング（16B）は取り付ける方向が決まっています。開口側が図に示す方向になるようにして、しっかりと最後まで差し込んでください。
6. 止水栓を左に回して開け、通水します。
※ このとき、適正流量になるよう流量を調節してください。詳細は「流量の調節」を参照してください。